

看護管理者連絡会議概要

1 目的

保健医療福祉に携わる看護管理者がそれぞれの立場から「看護の質の向上」に係わる諸問題について討議、検討を行い、地域における各看護管理者同士のネットワーク活動をとおり、看護職の総体的な資質向上の推進を図るとともに、都民への看護サービスの質を高めることを目的としています。

2 活動内容

看護管理者連絡会議は、都内看護職の「看護の質の向上」を図るため、地域における各看護管理者の主体的活動の場の一つとして、東京都が支援をする形で、講演会やシンポジウム、看護管理者同士の情報交換などの活動を行っています。

看護管理者連絡会議は、各医療圏や区市などの単位での看護管理者による主体的ネットワーク活動を推進するためのきっかけや、情報提供の場としての機能も有しています。

3 沿革等

(1) 沿革

昭和37年度から	看護管理者連絡会議の前身である総婦長会として活動を開始
平成14年度から	看護教育管理者部門が自主運営として切り離され、現在の「看護管理者連絡会議」として再構築

(2) 構成

都内の病院の看護管理者、都内の看護師等学校養成所の教育管理者、都内の訪問看護ステーション、保健所、老健等介護施設等の看護管理者

(3) 活動テーマ（過去8年）

平成29年度	「地域包括ケアにおける看護管理者の役割」
平成30年度	「地域包括ケアシステム」
令和元年度	「キャリア支援」
令和2年度	「新型コロナウイルス感染拡大防止」
令和3年度	「コロナ禍における人材育成」
令和4年度	「コロナ化を見据えた人材定着」
令和5年度	「次世代を担う看護管理者の育成」
令和6年度	「人材定着につながる職場とは」